東京福井縣人會報

東京福井県人会規約抜萃

第５条　本会はその目的を達するため下記の事業を行なう。
1. 懇親会その他の集会の開催
2. 会員及び家族の結婚の紹介
3. 会員名簿及び機関紙の発刊
4. 郷土訪問，観光の斡旋
5. その他必要と認められる事項

東京福井県人会
発行責任者　理事長　鎌倉　安一
東京都千代田区平河町２－６－３
（都道府県会館別館８階）
福井県東京事務所内
電話直通 03（264）0454番
振替口座　東京8－180487番
印刷　河和田屋印刷（株）

ごあいさつ

福井県知事
栗田幸雄

東京福井県人会報が発行されるに当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

皆様方には日頃県政推進にひとかたならぬご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて私は今春、県民の皆様の絶大なるご支持により、県政を担当させていただくことになりました。これまでのご支援とご厚情に対し、この機会に改めて厚くお礼申し上げます。今後は、県勢発展と県民福祉の向上のため、渾身の力を傾注して参る所存であります。ところで、皆様もご承知のとおり、本県は今、産業界は円高不況で苦しみ、農林水産業も曲がり角にあるなど、厳しい社会経済情勢の中にあります。一方、二十一世紀に向けて、国際化、高齢化、情報化そして都市化の進展といった新しい潮流があり、今後いかにして新しい発想に基づき、福井を活性化し県勢を発展させるかが、重要な課題となっております。

そこで、私は産・学・官の連携強化、ハイテク技術の開発などによる国際競争力のある「たくましい産業の育成」に全力を尽くすとともに、総合的な本県のＰ・Ｒ活動などを積極的に推進して参りたいと考えております。

また、国際化、情報化に対応できる「魅力ある人材の養成」、「健康で生きがいのある福祉社会の実現」、そして北陸新幹線、福井空港、高規格道路など高速交通体系の整備促進をはじめとする「快適な社会基盤の形成」にも全力を傾注する所存であります。

そして、これらの施策実現のため、国の四全総の方向に沿った新しい長期構想を策定して、本県のイメージアップを図り、県民が福井県に住むことに幸せと誇りを感じていただけるような活力ある、ふるさとづくりに向けて取り組んでいるところであります。

若い人の参加を期待する

副理事長　佐々木　功

東京福井県人会報第一号で、山下茂松氏が、私の見た県人会の集りと題して書かれた中に「名古屋福井県人会には、会員数二百五十名たらずなのに出席者が二百名近くで、その半数近くが、二十歳前後の方であるのに驚いた」旨のことがありました。また先日、東京で開かれました東京藤高会同窓会に出てみても、その大半が、二十代の人のように見受けられました。更には福井工専の同窓会でも同じような風景でした。

さて、ひるがえって、我が京福井県人会はその層の厚さ、歴史の深さにおいて、他にひけをとらない会ではあっても、出席人数、とりわけ若い人の出席者の数において、さみしさのあることは否定できないところであります。

福井県東京事務所の方々の大変な苦労をいただきながら、その方々と同年輩の方々の出席が少ないことは気になってなりません。

青年部の活躍がめざましいものがある今日、どしどし青年部の多数の方々の出席を得て、よどうか会員の皆様方には、会長をはじめとした役員の方々を中心に、会員相互の親睦をさらに強められるとともに、二十一世紀に向けたわが福井県の県勢発展に一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様およびご家族のご多幸と東京福井県人会の益々ご発展を祈念しまして、ご挨拶といたします。

縣人會の未來像

會長
松平永芳

我々舊人類にとつて、「ふるさと」と言へば、「兎追ひしかの山、小鮒釣りしかの川……」こそが眞のふる里の姿なのであるが、今や日本中で、相似形的都市化が進められ、地方色もふる里も殆んど消失し去つてしまつた。どこへ旅しても、豪華な惡舎・美術館・博物館・文化會館・公民館等が威容（異容か）を誇り立ち、その上、觀光觀光と他縣人を誘致導入する事に熱を入れ上げ、さすがに文化國家、金持國民と感心するより、寧ろ慨嘆する事ばかりである。會員、特に御年輩の方々に同ひ度い。折々歸郷されて、心から「兎を追ひ、小鮒を釣つた我がふる里へ戻つて來たなア」との心安らいだ感懐を抱かれるであらうかと。

斯かる有様を歎き悲み、縣人會そのものの存在意義に内心疑問を持ち続けて來た折柄、會長として主題の件をと、編集子より求められ、當惑、困惑、サァーテ何を書くべきかに迷つた末、この一文を投ずることとした。

率直に言つて、昨今の如く萬事テンポの早い世の中となり、ふる里が次々に消へ去つて行く以上、會長役員を若返へらせ、中堅所で運營して現世に對應して行かなければならず、これが會の未來像ではないかと思ふ。

もし現況の儘で良しとするなら、「兎追ひ會員」は總會時、若い藝能界志向の新人の演技、新入會員の自己紹介の折には、靜かにこれ等に耳を傾け、心から勵まし、迎へ容れ、且つ郷土の生んだ先賢の言動を忘れしめない様な企畫をなし、後進激勵育成型の會としなければならないと思ふこと切である。

米寿のことば

杉本　信太郎（福井市）

私は小学校を卒業して七十年になります。十三才の時、福井の八木に勤め、十八才の時横浜に移り、大正十二年の関東大震災後東京にでました。色々話題はありますが、悪い事は絶対致しておりません。世のため、国のため、人のためにいろいろ努めて参りました。

福井県人会にも長い間出席させていただいて居ります。この度米寿の御祝いを頂戴致しまして心から感謝にたえません。杉本家の宝として、永久に保存致します。体の動く内はかならず出席させていただきます。年に三、四回田舎の実家へ帰っております。最近カナダ方面にも旅行にいってきました。

商売はメリヤス製造です。子供のセーター等何十年も作っていたのですが、昨年長男が六十五才になりましたのでつくることはやめまして、小売店を出して居ります。私は非常に丈夫で居ります。国のため、世のため、人のためにつとめたいと常日頃思っています。

県人会の今後の益々の発展をお祈りします。

（江戸川毛莫大小㈱会長）

（県人会の活性化を図ることが、望ましいことは誰しも思うところかと思います。

皆さんと共に年輩者も、若人も喜んで参加して良かったという県人会にしようではありませんか。

春季総会報告

東京福井県人会の昭和六十二年の春季総会が、六月二十日スエヒロ築地店で開かれ、約三百人が出席し盛大に行われた。

松平会長が挨拶した後、昭和六十一年度の事業報告、収支決算報告があり、昭和六十二年度の事業計画（名簿発行、会報第二号発行）収支予算案等が満場一致で承認された。なお会員の中で米寿を迎えた杉本信太郎さん（江戸川区在住）山村久さん（品川区在住）に記念品が贈られた。

来賓として栗田幸雄新福井県知事が出席し、当選のお礼と今後の県政推進に協力を訴えた。就任後初めての挨拶では県政を推進するにあたり▽福井空港定期便のジェット化再開▽北陸新幹線の本格着工と若狭ルートによる嶺北嶺南の一体化▽高規格道路の推進の三点をあげた。

県人会では会員を代表し、佐野きく枝副理事長が知事に花束を贈り、激励した。懇親会の席で、青年部会員との記念写真に気軽に応じられる等〝県民党知事〟のイメージを印象づけた。

衆議院議員
福田　一
〒100　東京都千代田区永田町二－二－一
衆議院第一議員会館五二九号室
電話（〇三）五〇八－七　二五九

衆議院議員
平泉　渉
〒100　東京都千代田区永田町二－二－一
衆議院第一議員会館三〇九号室
電話（〇三）五〇八－七　三〇九

衆議院議員
牧野隆守
〒100　東京都千代田区永田町二－二－一
衆議院第一議員会館四〇九号室
電話（〇三）五〇八－七　九〇一

衆議院議員
辻　一彦
〒100　東京都千代田区永田町二－二－一
衆議院第一議員会館六四〇号室
電話（〇三）五〇八－七　一五〇

参議院議員
熊谷太三郎
〒100　東京都千代田区永田町二－二－一
参議院会館四二四号室
電話（〇三）五〇八－八　四二四

参議院議員
山内一郎
〒100　東京都千代田区永田町二－二－一
参議院会館七〇一号室
電話（〇三）五〇八－八　七〇一

神田外語大学開校

国際社会の人材育成

本会佐野きく枝副理事長（鯖江市出身＝写真）の経営する神田外語学院は本年四月、千葉市幕張地区に神田外語大学を開校した。

佐野きく枝学院長は、かねてから、〝言葉は世界をつなぐ平和の礎〟という信念のもとで、昭年五十三年より大学開校をめざし、アメリカ、イギリス、カナダ、中国、韓国などの視察を重ねると同時に、国内での大学視察、研究をもとに開校準備をすすめてきた。同大学は、実際に使える生きた語学力を養い、国際社会で活躍できる人材の養成をめざしている。同大学には英米語学科、中国語学科、スペイン語学科、韓国語学科等があり、専任教授陣五十名を含む総勢八十五名で構成されており、そのうち外国人教授が十五名を占めている。

初代の学長は小川芳男氏で、少数精鋭主義で実力本位の大学づくりをめざしている。

ようかんが一番の〝薬〟

宇野重吉さん執念の舞台

「生きている限り、役者は絶対に手を抜くな」―肺がんを宣告されながら舞台に立ち続ける劇団民芸の宇野重吉さん(七二)＝本名寺尾保夫＝の執念の舞台が大阪市東区の三越劇場で繰り広げられた。

宇野さんは、ことし二月に体調を崩し、東京・新宿の東京女子医大病院に入院していた。精密検査で、左肺がんに侵されていることが判明、摘出手術を受けた後、担当医師から「舞台に立つな」という勧めもはねつけ「舞台で動き回りながら体力をつけてみせる」と意欲をみせ続けた。同氏の話によると、「カロリー補給にようかんを食べないかと勧められ、試してみたらとても具合がいい」と。

〝重吉一座〟の女優日色ともえさんは「舞台でのエネルギー迫力は私たち若い者も及びません。お芝居を信念でやっているという感じです」とその執念に驚いている。

飛島建設が新会社

企画から家具調達まで

飛島建設はインテリアデザインを事業化するため、専門の子会社「アーキテクツ・アンド・アーテイスツ」（略称A&A、本社東京、社長名木山高）を全額出資で設立した。躯（く）体の設計、施工から一歩踏み込んで、オフイスやホテルのインテリアの企画、家具の調達などを一貫して手掛ける。

A&Aは建物全体のインテリアデザインだけでなく、オフイス内の重役室からホテルのロビー、ゴルフ場のクラブハウス、飲食店、個人住宅まで幅広い分野に対応する。

同社は今春、高級家具販売のアルフレックスジャパン(東京)と共同出資で内外装に工夫を凝らした高品位住宅を一貫施工する「カーサプロジェクト」（本社）東京を設立するなど既にインテリア重視の方向を打ち出しており、A&A設立もその一環である。自社スタッフのほか、専属契約方式で外部のインテリアコーディネーターを組織し陳客を整える。

（9／25日経産業）

秋季総会御案内

秋季の総会の日程等がこの程内定しました。会員の皆さん多数御参加下さい。

記

日　時　昭和六十二年十一月二十一日（土）午後一時開会

場　所　築地スエヒロ（電話五四二―三九五一）

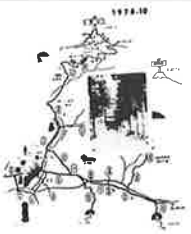
講　演　「朝倉氏遺跡」朝倉氏遺跡保存協会会長　木村竹次郎氏

懇親会　恒例の福引その他

池田郷友会と其の風景

前会長　倉内　實

其の昔、明治の末期から大正の初期、武生迄五里（二十キロ）、福井迄十里（四十キロ）、栗田部（今立町）へ三里（十二キロ）といわれ、部子山、冠山を背に足羽川の最上流の盆地、池田は熊が出るといわれた山奥である。当時上下池田村で、一八〇〇戸位、分教場は十カ所以上、町へ出るには、どこから出ても峠を一つ越さねばならない。買物は朝暗い内に出て夜池田へ帰る。バスは無いし、自転車さえ少な



く働く。農業と養蚕が主とした収入であった。朝は、オハヨウゴダイス、日暮れの帰り時、オスミナシタカノウと交す部落の人々の挨拶言葉。これが池田村の昔の風景である。雪多くして夏米以上も降ると、通学に道をあけるのは下級生を引連れた、上級生の義務であり、また特権でもあった。

だが、今の池田は変わってきた。小、中学校も鉄筋三階建、武生迄バスで一時間。自家用車で四十分。福井迄一時間の便利さ。冬の通学の道は除雪され、各戸に自動車の一台や二台はある。国道が一部縦断し、道路は広くなり、それも山奥迄、河川改修で河岸は完全整備で、却って川魚「ウグイ」「イワナ」さえ少ない様だ。ほとんどが兼業農家で、全国どこの農家も生活水準は東京と変らぬ。我々中小企業の都会生活者の方が余計に働いている様に思われるのが今の現状である。

東京池田郷友会は、この土地で生れた出身者のグループである。昭和三十二年迄、福井放送㈱の役員をした体験から、昭和三十八年春から準備にかかり、役場、学校、先輩との連絡等二年程かかって、漸く、昭和四十年三月、目黒雅叙園で、第一回の会合。岡町長もやってくる、会員百二十名、出席者五十余名以後毎年欠かさず会合を開き、老若男女相集い、面白く、懐しく愉快に一日を過すのである。時には、無形文化財「能舞」等々を招き、また昭和六十年九月には、二十周年を記念し、郷里「須波阿須疑神社」の境内に、有志会員の協力により「望郷の碑」という小庭園、並に碑文碑を建立した。「望郷の碑」の文字は前衆議院議長福田一先生に健筆をお願いし、福井新聞、日刊福井、中日新聞、FBC福井放送も参列し建立式典を催し、福井放送は、当日夜のニュース番組で放送したのは、会員の誇りであり、また大きな喜びでもあった。

昭和六十一年十月、私も会長を二十年勤めたので、辞任、後任は、若き病院長平井満夫君に譲り、今後の努力と発展を祈っている次第である。

（倉内繊維㈱社長）

南条郷友会近況報告

会長　山根重次

東京南条郷友会は、今から三十四年前、福井県南条郡南日野村、北仙山村、南仙山村、この三村出身者で東京地区に住む者を会員として発足した。

会長は、岩倉卯門さん、副会長は、林恒治郎さん等で、会の運営は、事務所を神田の林恒商店に置き、毎年お正月に五、六十名の会員が集まり、いつも大盛会で、楽しいお正月を迎えた。

この三村は、昭和二十八年十月一日にできた町村合併促進法によって昭和二十九年一月一日に合併し南条村となり、昭和三十九年九月一日に町制を施行して新しく南条町が生れて、初代村長には橋詰仁助さんが就任され、昭和三十七年二月九日に丸岡斉さんが第二代を継がれて、今日に至っている。

東京南条郷友会の新年の総会には初代村長の橋詰仁助さん、福井県人会からは幹事長の福田耕さん、国会からは植木庚子郎先生、高橋衛先生、迫水久常先生、熊谷太三郎先生代理倉島昇さんが必ず出席され、村長さんが持参された越前がにを肴に時の経つのを忘れたが、これは、二代を継がれた丸岡斉町長さんの今も毎年正月に続いているばかりでなく、東京南条郷友会の名簿まで役場で作って頂いているのが現状である。東京南条郷友会の現会員は約三百二十名。本年は、一月十八日に、いつも会場をお願いしている豪摂寺東京別院で第三十四回総会を盛大に催すことができた。

（北陸通信サービス㈱取締役）

東京地区各会一覧

同じ町や村に生まれ育った人も大変懐しい。郷土の会の一覧を掲げた。（連絡先は主に、各会長の自宅を掲載させて頂いた）

福井県人会　会長　松平　永芳
事務局 03―264―0454

大野会　会長　鳥山　昇
事務局 03―591―0271

勝山会　会長　近藤　勝
連絡先 03―729―5872

三国会　会長　中村　利信
事務局 03―481―2090

鯖江会　会長　軽部弥生一
連絡先　0422―53―7359

武生郷友会　会長　長田　長
連絡先 03―361―0105

南条郷友会　会長　山根　重次
連絡先　0471―67―2571

池田郷友会　会長　平井　満夫
連絡先 0429―62―3091

敦賀人会　会長　西野嘉一郎
事務局 03―503―7221

若狭雲城会　会長　丸井　大陸
連絡先 03―719―7527

福井産業懇和会

越前和紙の里今立で夏季研修開催される

福井産業懇話会（幹事長　宇波保雄福井銀行取締役東京支店長）の夏季研修会が八月十四日、今立町の越前和紙の里で開かれた。

同会は、県内に本社があり、東京に支店、事務所を持っている企業が、相互の連携を図るためつくられたもので、毎年旧盆に古里帰省を兼ね県内で研修会を開いている。

今回は二十人の会員が参加、福井市からバスで今立町越前和紙の里を訪れた。ここで日本でも最も伝統が古く、品質の高い越前和紙の歴史を学び、続いてパピルス館で、会員一人ひとり有志会員の説明をききながら、色紙に思い思いのデザインを描き和紙づくりを体験した。若泉今立町長も顔を出し、会員とふるさとづくりについての意見交換をした。

午後は金津町のゴルフ場で懇親ゴルフを楽しんだ。

飛島建設株式会社
代表取締役会長　飛島　齊
代表取締役社長　飛島　章
〒102　東京都千代田区三番町2
電話 03（263）3151

株式会社　熊谷組
取締役社長　熊谷太一郎
〒162　東京都新宿区津久戸町17―1
電話 03（260）2111

前田建設工業株式会社
代表取締役会長　前田又兵衛
代表取締役社長　前田顯治
〒102　東京都千代田区富士見2―10―26
電話 03（265）5551

昭和62年青年部研修会

恒例の青年部（登録会員約三五〇名）の昭和六十二年度の研修会が、五月三十日、昼陵会館で開かれ、県出身で、弁護士、公認会計士、通訳の資格を持っている黒川康正さん（三七）が「整理術」について講演した。＝写真＝

この日の研修テーマは、煩雑になる一方の事務や作業をいかに効率的に行うか、について

〝マルチ人間〟といわれる黒川さんを講師に招いて学習した。

黒川さんは、藤島高校出身で四十九年東大経済学部卒で、弁護士の資格を持つ一方公認会計士三次試験に合格、英検一級に合格し、日本でただ二人弁護士、公認会計士、通訳の三資格を持つ人。〝資格三冠王〟と呼ばれ各方面で活躍しているが、この日の講演では▽方向づけ▽比重の置き方▽時間の使い方▽工夫の仕方▽心の健康▽言葉づかい―など自ら実践している「整理術」について話した。

青年部ではその他、旧盆に有志で、県内の若手経営者との交流会を企画している。更に県内に二つの連絡支部を設置した。

▽嶺北支部
山の内三紀子宅
（福井市大手町一の一七豊岡宅―〇七七六―八三―〇六八四）

▽嶺南支部
林　哲夫宅
（敦賀市呉竹町一の二一の二〇―〇七七〇―二五―四四三九）

特産品全国にPR
アイデアを凝らす
新任の清水小浜郵便局長

青年部の清水悳さん（福井市出身。高志高卒。47歳）は七月一日小浜郵便局長に着任された。福井新聞に紹介された。一部記事を紹介すると、

――略歴は

清水　福井市生まれですが、約二十一年間は東京で過ごし、以前は大臣官房人事部にいました。女房と娘二人（短大一年、高校一年）は東京に置いて単身赴任です。

――小浜市のイメージアップ、活性化の対応は

清水　小浜は中部圏百キロ以内にあり、関西のリゾート地帯として生かさなくては。ヨットハーバー、ウインドサーフィン、ゴルフ場、テニスコート付民宿など、ヤング世代にアピールするものを考えなくてはいけない。郵便局は特産品の全国PRにお手伝いしています。「ふるさと小包」は好評で、小浜の小ダイの笹漬け、若狭塗はし、地酒セットなど取り扱っています。郵便局が〝情報基地〟となるように考えてゆきたい。

――今後の取り組みは

清水　地元の銘菓、若狭の新米小包など地域の特産品をさらに全国に広めるお手伝いをしたい。住民との触れあいも考えたい。

清水さんの着任した七月末では郵便収入、電子郵便、定額貯金も好収入。北陸管内四十局中、三位の好成績になった。

青年部有志と
福井在住人と交流

青年部で、企画した福井人との交流会がこのほど実現した。東京側から、佐々木功、朝岡勇、林健彦、オブザーバーとして県人会幹部の近藤陵、山根重次の各氏が参加。福井側から参加したのは大野青年会議所の北山修三、前田裕一、金森啓造の三氏に大野市の砂子市議等である。

福井側から、奥越地方の実情と将来の展望について説明があり、県人会側から、東京地区の大野、勝山会等が年々活発に活動を行っていること。各会員とも、古里への愛情は人一倍多いことを話し、その後懇談に入った。全員が福井出身者とあり、終始大変和やかに、話題の盛りあがりのある会合であった。

将来これを契機に更に交流を続けてゆくことを約束し散会した。

〝サラダ短歌〟
爆発的ブーム
俵万智さんの著作

五七五七七の短歌に自分の言葉を軽やかに取り入れ、与謝野晶子以来の大型歌人と反響を巻き起こした俵万智さん（二四）東京都町田市在住の初めての歌集「サラダ記念日」が今、爆発的に売れている。この調子だと二百万部をこすベストセラーになっている。

俵さんは藤島高を経て早稲田大学へ進学し、在学中に佐々木幸綱氏と出会い、作家の道へ。二年前『嫁さんになれよ』だなんてカンチューハイ二本で言ってしまっていいの」の歌で角川短歌賞次席、「八月の朝」で同賞を受賞。現在高校の教師。

「大きければいよいよ豊かなる気分東急ハンズの買物袋」。こんなコピーライター顔負けの歌もたくさんある。

表題歌「『この味がいいね』」と君が言ったから七月六日は「サラダ記念日」の歌には食品メーカーが七月六日を「サラダ記念日」にしたいと便乗する話もある。

福井の田舎には、両親と十歳下の弟さんがいる。俵さんの歌には、こんな歌もある。

ふるさとの　我が家に我の歯ブラシのなきこと　母に言う大晦日

来春〝女優〟デビュー
峰さお理（敦賀市出身）

宝塚歌劇団星組の男役トップスター峰さお理さん（三四）が今秋の東京宝塚劇場公演「別離の肖像」を最後に女優に転身する。地方出身のハンディを克服し、地道に積みあげてきた十五年の舞台歴。しかもこの三年間は芸能界のトップスターとして大活躍してきた。

本名、安田峰子。敦賀高校二年の時に中退して、宝塚音楽学校へ入学。バレーを習っていないというハンディを背負いながらも持ち前の気丈さで奮闘。卒業時には二番という好成績で早くも注目を集めていた。四十七年宝塚歌劇団に入団、新進の男役として登場。五十九年には、「我が愛は山の彼方に」で芸術祭優秀賞を獲得した。

この四月の「紫子（ゆかりこ）」で峰は、双生児の兄妹を早変りで演じ、初めて挑戦した〝女役〟がほめられたこともあり、女優デビュー第一作の「深川さくら茶屋」（正月の東京宝塚劇場公演）では、山本富士子の柳橋芸者と競い合う深川芸者となり、最後は踊り比べをする。

君と観る　画面いっぱいラブシーン　よく似た仕草の　主演男優

天谷　直弘氏
電通総研所長に就任

広告業界で取扱高、利益とも世界一位（昨年）の電通が一〇〇％出資のシンクタンク「株式会社　電通総研」をつくり、天谷直弘、元通商産業審議官が初代の所長に就任した。

三十人程度の専任のスタッフで、人間の価値観、意識、行動の構造などを、政治、経済、文化生活などの面から総合的に研究する。

新ポストでは手はじめに、大手企業のトップ三百六十人を東京の帝国ホテルに招いてフォーラムを開催した。テーマは「いま、世界が問い直す。What is Japan？」――世界に通用する新しい日本のアイデンティティをさぐる」

必死で働いてきた日本も、そろそろ国際社会で名誉ある地位を占めるべき時期。「そのためには日本独自の価値感を打ち立てる必要がある」と力説する。

（天谷直弘氏の略歴）

東大法学部卒。昭和23年商工省（通産省の前身）に入り、基礎産業局長、エネルギー庁長官などを経て、54年8月通商産業審議官。56年6月退官、その後臨調第一部会長などを歴任。62歳。福井市出身

〔ブック紹介〕

○福井県―新風土記一九五七
岩波写真文庫（復刻ワイド版20）
六〇〇円
経済大国世界一「とうぬぼれているわけにはゆかない。人間にとって、最も大切な自然や文化や歴史をつぶしてしまうこともある。この本は、ふるさとの姿を写真で克明に記録したもの。一読をすすめたい。

○街道をゆく（十八）司馬遼太郎著　朝日新聞社発行
一二〇〇円
ふるさとの歴史を記録した本は多い。しかしいずれも満ちたりないことも多い。この本は作家の見た、越の国と角鹿の国の歴史と文化を中心としてのべたものとして大変分りやすい。中に出てくるテーマは、越前という国、道元、平泉寺の盛衰、寂円の画像、丸岡城趾、紙と漆、三国の千石船、丹生山地のふしぎさ、越前陶芸村等の各テーマは興味深いものが大変多い。

○炎の舞い、遅咲きの梅等
津村節子著一連の作品、御存知、福井出身の作家。若狭の水上勉の作風の暗さとちがい、ふるさとの越前焼や、吉崎つむぎ等に取りくむ人々の姿を描き大変象徴的。創作の合間には、ろくろにむかうという陶芸家。

一行短信（青年部近況）

○和田宏（敦賀市）文芸春秋
おやじが大病で、こちらで入院させていますのでなかなか大変です。

○浅井晋央（永平寺町）前田建設工業
社用で大変忙しい毎日です。

○青島節子（春江町）教員
いつも御案内ありがとうございます。仕事で大変忙しくしています。

○坪川孝志（永平寺町）日大医学部
脳神経外科教室の主任教授として毎日診察しています。

○井之部康之（大野市）㈲ヤマテ企画
テレビの構成（10チャンネル）の他出版物の企画、編集。新しいブライダル商品の企画製作販売等に多忙をきわめています。

○酒井洋子（清水町）
長男も社会人としてスタートを切り、ホッと一段落というところです。

○鎮西迪雄（大野市）農林水産省文書課
五月八日に設立された、農林水産省若越会の会長に選出されました。東京福井県人会と連絡を良くし、少しでも郷土に役立つようがんばりたいと思っています。

宝鏡建物株式会社
社長　宝鏡　晃
〒105　東京都港区西新橋3―16―3
電話　03（431）0911

東京三味株式会社
取締役会長　坂本金太郎
〒135　東京都江東区深川2―24―3
電話　03（641）0171（代）

日高カントリークラブ
理事長　高橋修一
〒104　東京都中央区銀座2―2―4
電話　03（563）2471

ら福井県人

「寂五月」西山真一

楽しく生きる

小幡 治和（福井市）

永年の親友中川平太夫前知事が突然亡くなられた。人の世のはかなさを沁々感じた。

私は自分の死は何とも思っていない。毎朝十五分間仏壇の前に坐って般若心経と観世音普門品第二十五偈を上げている。

生ある間守って下さり、死ぬ時は諸菩薩揃って迎えに来て浄土に連れて行って下さると信じているので死は少しもこわく無い。

然し生きて庭を眺めれば紫陽花は緑の葉に紫の花一杯につけ、その隣にはくちなしの純白の花が芳香をただよわせ、花壇には矢車草が咲き乱れ、空はあくまで碧く、此の世はまことに楽しいもの、その上に友達はあちこちに一杯居て迎えてくれる。この世は何と楽しいものだと沁々思う。

私は傘寿の祝の時に「わが人生の幾山河」という本を刊行したが私の働き盛りの人生は正に福井県で終始した。三、四日したら又帰県して敦賀の市長や新知事と一席持ち、ゴルフ会もすることになっている。福井県の隅々どこでも懐しい地懐しい人達が居る。毎年三、四回福井県に帰るのが楽しみだ。そこで俳句も作る。五つの句会に毎月出ている。

自民党本部には前国会議員会副会長として、又厚生関係の財団の顧問や会長をして毎週どこかに出動している。

この世は楽しい。仏様のお迎えが来るまで存分に楽しく生きるつもりである。

（元福井県知事）

国境の町

（遙かなる中南米の思い出）

加藤 益美（鯖江市）

メキシコ市に行く航空券が手に入らなかったので、ロスアンゼルスから汽車で行くことにした。汽車は北米ニューメキシコ州の砂漠地帯を越えて国境の町エルパソに着いた。それは国境を流れるリオグランデ河の北米側の町であり、河の向こう側にはメキシコの国境の町がある。駅はこの二つの町を結ぶ橋の袂にあり、駅のホームに立つと二つの町が一望の下に眺められる。

エルパソの街には高層建築が立ち並び、自動車が走り、紳士淑女が腕を組んでそぞろ歩き、街にはビフテキの香が流れる。ところが河の向うの街を見るとそこには土で作った家が並び、ぼろを着た老婆がぼつねんと家の玄関に立っていた。この情景を見てそこに国の隅々迄溢れる国力の相違を見て愕然とした。

四面海に囲まれた日本では見ることのできない情景にぼう然として駅の外に出たら、一人の質素な服装の青年が「何を考えているか」と声をかけてきた。「メキシコへの出国手続をする為に税関を探している」と答えたら青年は、「案内するから自分の車に乗れ」と言い税関に案内された。手続きを終ってタクシーを探していたら、また青年が現れて「駅まで案内しよう」と言う。車に乗って青年の親切に感激した私は「汽車の中の鞄の中に日本製の純絹のハンカチがある。それを御礼に差し上げたいので汽車の出発する午後四時頃に是非駅まで来て下さい」と頼んだら、青年は「貴方は私に礼を言う必要はない。私はイエスキリストの為にこうしただけだから、自分も仕事のある身だから手が空いていたらまたお会いするが万一都合がつかなければ貴方の幸多き旅路を祈る」と答えた。出発の時間にハンカチを持って待ったが、青年は遂に現われなかった。私は心の中に青年の多幸を祈りつつ宗教を持つ国民に羨望の念を抱きながら、北米を後にした。

（加藤法律事務所所長）

和服礼賛

大塚 末子（敦賀市）

今日のように都会に棲んでいると季節の移り変り、けじめというものがはっきりと覚えない。街に流れるファッションはシーズンを早目に街に流すし、暦を見直すことがある。

福井県、といっても私の生れた頃の敦賀と福井市との交通の便は今日のようではなかった。自然に県庁の所在地と判っていても何かと都会的なものは京都に足が向いた。社会人になった頃には福井県に生れた仕合せをしみじみと感じるようになった。福井県全体が古い歴史と中にあって温かい人情の豊かさが残されていることである。長い仏門に育てられてきた事もあったせいであろうが他人に対し非常に温かいやさしさがある。

水はきれいだし、景色はどこに行っても美しい。近頃は和服を着る人が少くなったが福井の羽二重和服党を喜ばすばかりでなく、ナイロンの無い時分福井の羽二重が横浜の相場を動かしていた事を覚えている。

遠い明治生れには故郷のことと言えばその時代しか話せないのが恥しい。

ロシア語の看板があった頃を知っている私にはいつの日か、ソ連との問題が甘く解決されて海の敦賀が賑やかになって呉れる日を待ちわびている。

（大塚きもの学院長）

長寿国に憶う

田辺 勇（三国町）

日本人の平均寿命が、女八〇・九三歳（世界一）男七五・二三歳（世界二）の長寿国となった。長寿といっても、それは平均で人それぞれの寿命は異る。長寿必ずしも喜ぶことは出来ない、体は老化し働けなくなり収入は無くなる。老後を豊かに暮すには、公的年金だけでは心もとない。勤労者は定年後三千万円も貯金が必要だといわれる。私は三十年前老後の貯えとして生活を詰めて、加入した養老保険満期金三十万円が特別配当金を含めて僅か五十三万余円をこの程受領しました。この金を運用しても年五分以下である。つい高利を追って悪い業者の財テクに欺されて、虎の子の貯金を奪われる老人の報道も、ひとごととは思えない。また恍惚の人、ボケ老人も、何人に一人と報ぜられ、その一人に自分が擬せられて脅されているような気持がする。長寿といっても、病床に点滴して酸素マスクに排尿管をつけて生かされていても何の意味もない。このような方々を毎日看ていると、幸せとは、先づ健康だとつくづく思う。しかし人は誰もが患い、老い、死を迎える。現在七十五歳の私の平均余命は九歳、平均死期は八十四歳といわれる。そこまで生きる保障もないが、またそれ以上生きるかも知れぬ、老後を想定して、生活を詰めたり楽しみを延ばしたりすることは愚かなことと思います。

（楠原記念病院監理部長）

郷里の先輩のこと

小林 千代治（越前町）

戦前の第一高等学校は、天下の秀才の競争場であった。その一高に、ある年、福井県から三人合格した。熊谷太三郎さん、高見順さん方である。しかも、熊谷さんは、その入試成績はトップだった。ところが入学後は勉強よりも酒に親しみ生活が多かったとのこと。大学も東大でなく京大を選んだ。家柄が良くて就職の懸念がなかったからだろうか。そんな話を、上司の福島慎太郎さんから聞いたことがある。

熊谷さんの国会出馬の初回選挙には、福島さんも張り切って応援演説に出かけたし、商用で武生市に赴いた時、熊谷さんに会うのが楽しみで、宿に着くとすぐ受話機を取りながら思い止まった。福井市長の要職にある熊谷さんの身辺の多忙さを察したからだろう。

私が福井県出身だと知ってのことだろう、福島さんはよく熊谷さんのことを話された。一高当時はよく酒をご馳走になったようだ。高見さんについては、小説家になってしまったと惜しまれるような話ぶりだった。

友情と畏敬の念は一生続いていたと思われた。

福島さんも故人になられた。死の遠因はお酒であったと思う。熊谷さんの酒盃との縁が今どの程度かは知るよしもないが、福井県の政財界の重鎮である熊谷さんにご自愛を願いたい。

（㈱ジャパンタイムス社長）

ふるさと父母

山内 高嘉（勝山市）

ふるさと勝山とは、私にとってなんだろうか。私をはぐくみ、育ててくれたところ、祖父の眠るところ、純情多感な少年時代を過ごした一生かけがえのないところ、心のふるさと等々。とても筆舌で表現することのできないものである。

私が勝山で育ったのは七歳から十八歳である。勝山庄谷保田の母の実家で私は出生した。父の仕事の関係（軍隊）で鯖江で六歳まで育った。その父の転属で岐阜に移り住んだ。国民学校一年生は岐阜で入学し、母に連れられ近所の神社でお祓を受け、母から「今日からあなたは一年生です。しっかり頑張りなさい。そしてお父さんに負けない立派な人になって下さい。あなたならきっと出来ます。さあお母さんと一緒に神様にお願いしましょう」と母は口の中で何かを祈っていた事を今も忘れることができない。母と神と私の約束事がいつも頭にこびりついて離れることがない。

いつもやさしい母、私のことをほんとうに心配してくれる母、どんなことでも一緒に悩んでくれる母、私にはかけがえのない母、四十九歳の私を今でもこんなに色々と気を配ってくれる母、ほんとうになんといって良いのか私はその言葉さえ見つけることができない。私の母は気の長い、おおらかな人柄だ。失敗しても滅多に叱る事のない母です。その母に私はこれからどんな事をしてあげるのが、一番母にとって嬉しいのは何んだろうか？　もう七十三歳いつまでもいつまでも健康で長生きをしてほしい。

父についても少し書きたい。軍人であった関係で目つき鋭く、敗戦のため長男として慣れない百姓をしなければならず、うまく行かないので私達も勝山で小学二年生から百姓の手伝いをしなければならず、他所の人達は皆さん上手に百姓ができるのに、父はうまくいかず、毎年五月には一週間学校を休んで馬のくつわとりなど、一生懸命子供心に頑張りました。

良く叱られ、ほんとうに怖い親父だとつくづく思うと同時に、この親父に負けてたまるか、今に見ておれ、親父に負けない人間になってやるぞと闘志を燃やし、勝高の卒業式の夜の夜行で東京に出て親父から開放され、本当に良かったと思った。しかし今になって考えると父は私の性格を見抜き、そんな風に育ててくれた父も実に偉大なる指導者だとつくづく思った。

ともすれば、我が子供には甘い言葉をかけてしまうが、私の父は最後まで厳しい言葉で叱るばかりで、褒られた記憶はない。今にして思えばそれで良かったのだ。

今の自分はやさしい母、怖い父に十八歳まで勝山で育てててもらった事は素晴らしい私の宝物である。子供や孫に語り継がなくてはならないとつくづく思う毎日である。

（㈱山の内社長）

岩佐医院長
台東区議会議員
医学博士　岩佐 昇一
〒110　東京都台東区東上野1－8－10
電話　03（831）1833

株式会社芝浦製作所
相談役　西野嘉一郎
〒107　東京都港区赤坂1－1－12
電話　03（586）2111

東京鯖江会会長
華栄養専門学校長
医学博士　軽部彌生一
〒110　東京都台東区根岸1－1－12
電話　03（874）7261

活躍するわれ

「漁」加藤直子

「横浜の名産は、子供たちです」
—横浜博の開催にむけて—

田中　昭一（大野市）

一九八九年（昭和六十四年）に、横浜市は市政百周年を迎えます。福井市を含めて、全国には三十九都市があります。

さらに、横浜は安政六年（一八五九年）の開港以来、世界の窓口として今日まで、日本近代化に大きく貢献してきました。横浜開港百三十周年も、同時にお祝いをいたします。

横浜には外国人が多く住み、西欧の文物が入り、新しい情報が津々浦々へと伝わっていきました。横浜は、人々の憧れの街であり、情報発信の都市として、現在も変わることなく発展を続け、その重責を担っております。

二十一世紀にむけても、横浜は時代の先駆的な役割を担い、未来都市の先陣を拓いていきます。そこで今、横浜では「宇宙と子供たち」をテーマに、未来の都市づくりを目指した「みなとみらい21」地区での、博覧会の開催準備を進めています。

それは、人間・地球・宇宙の発見であり、次代の主役である子供の感性を創造し、新しいライフスタイルを求め、共感したいと主張しています。二十世紀は米国、二十一世紀は日本の時代ともいわれています。私たちは今一度、人間という生きものの存在に光をあて、地球的な視野から「ヒト」を考え直してみるチャンスだと考えます。

「世界から横浜へ＝横浜から世界へ」と、横浜には若もののエネルギーが満ちています。また、「横浜の名産は、子供たちです」という、横浜の未来が、この博覧会にあるのです。昭和六十四年三月二十五日には、「みなとみらい21」の中に、港から世界へ、そして横浜から宇宙への大きな夢の橋がかけられるものと期待しています。

それは、横浜にとって第二の開港となるべきものであります。（財団法人 横浜博覧会協会）

思い出

檜村　陽子（敦賀市）

ふるさと福井では父が北陸電力に勤務していたため、丸岡、三国、勝山、敦賀、福井と転々とし、東京で大学を卒業後、ＯＬ生活を過ごしサラリーマンの夫と結婚、国内各地、そして西独にまで転居を余儀なくされ昭和五十六年にようやく渋谷に落着く事ができました。子供達の転校も六回と可哀想な思いもしましたが、多くの土地で多くの人々に知己を得る事ができ貴重な体験ができたのではないかと大変有意義に思っています。

特に西独での生活は一種のカルチャーショックでした。初めての外国生活、習慣の違い、言葉等に戸惑いながらも外国人の私達に、気軽に声をかけてくれるおおらかさ、マナーの良さにふれあい交流を多くもちました。

街は緑が多く伝統を大切にしながら、近代化を進めそれが見事に調和し、整然とし、誰もが街を愛している様子がうかがえました。種々と考えた結果は発想のき方を変えねばならない時もある。昨年からの東京の土地狂乱と地上屋の暗躍は異常としか言いようがない。

まさかと思った私の赤坂の場合もターゲットになってしまった。

充電のバリへの旅

遠矢　和子（朝日町）

時として長い人生の間には生き方を変えねばならない時もあ

帰省の際、ＪＲ線で、どのルートを通ろうかと案を練るのも旅の楽しみのひとつです。上京した昭和三十年代半ばでは、年に一回、それも大晦日、午前中は集金や大掃除をし、慌しく銭湯に入り、着換え、上野駅にゆき六時間程行列をし、やっと席を確保した終着が福井駅の夜行急行で帰省したものでした。現在は東京駅を二十時の新幹線に乗れば二十三時四十分頃着いて しまうのですから、時の流れを思わずにいられません。

帰省と旅

長谷川　清（清水町）

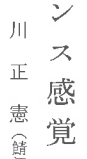
よくしたもので、機能的な旅も出来る反面、八月の民族大移動(?)に巻きこまれ時間をかけた一人旅は、侘しさも無きにしもあらずですが、気の向くまま時には思いもよらない土地へ足を運べる面白さがあります。

こうした旅で 穂高町、井波町、喜多方市を訪れたのが印象に残っています。

少ない帰省中の時間に県内で訪れたい場所も結構多く、車を利用し、行っています。所詮、関東に定着は生涯に亘る旅と思いながら心情は故里指向の傾斜を深めてゆく感覚もあります。

厳しく考えれば、他郷に青山を求めた者が帰郷の念を募らせるのは理由なしと言えないだろうが、旅人で訪れる以上に受け容れられない面はないのだろうか。山紫水明、純朴さは望郷の美しい色合いである。（㈱河野）

バランス感覚



菱川　正憲（鯖江市）

今夏の最大ヒットは何でしょう。〝サラダ記念日〟俵万智さんです。パッと反応する、これがバランス感覚。この俵万智さんと言って分らない人は分らないので代表作を二つ。

「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日

「嫁さんになれよ」だなんてカンチューハイ二本で言ってしまっていいの

そしてズバリこの俵万智さんは高校時代福武線で通学していたのでした。

今夏二つ目の大ニュース。

鯖江高校決勝戦進出、いまや福井商業常連で興味半減の県高校野球でしたが突如浮上してきた鯖江高校、これはビッグニュースです。思わず県営球場へ直行しました結果は負けましたが、来年の優勝間近しと確認し来夏は三十年振り甲子園へ足を運べるのではと真夏の夜の夢をみていたのでした。

オヤジの言葉

筒井　忠信（大野市）

進学、就職その時々に親は可愛い子と共に悩む。昔はほんの一握りの子女しか学び舎に行けなかった。学問、へりくつ不要、汗して働くことが最大の美徳。私の思春期も高校進学はクラスの三分の一、大学進学はまれであった。

不肖私は親のお陰で立命館大学までゆかせてもらった。「男子志を立てて郷関を出ず、学若し成らずんば死すとも還らず」父の言葉……。だから今だかって大野に帰っていない。県人会に毎回出席し、感じる事は自分の不勉強であるが「少にして学べば壮にして為すあり、壮にして学べば老いて衰えず、老いて学べば死して朽ちず」の先人達のことわざを、教訓として日々勉強を続けてゆきたい。「花の命は短かくて美しきことのみ多かりき」恋は人生不過である。（飲食店 キングダム経営）

香港・マカオ夫婦旅行記

戸田　徹（丸岡町）

結婚二十年目の節目を迎え、家内とゴールデンウィークを利用して香港・マカオの旅と洒落込みました。

当地を選んだ理由は、第一に、「東洋の中の西洋」として、イギリス、オランダ、中国を垣間見ることが出来る。

第二に、十年たつと引続いて自由主義圏から、主義・思潮の異なる中国に返還されること。

第三に、香港が世界の商業の中心地として繁栄し、マカオが東洋のカジノとしてユニークな存在価値を有するからです。

飛行機が啓徳空港に着陸する寸前の香港の印象は、島の上に築かれた都市で、面積の狭い割りに沢山の人口を抱えているため華奢な高層建築が密集・林立しているということでした。地震でも起きたらひとたまりもありませんが、地震はほとんどない由で、福井で大震災を経験している私共には異様にさえ感じました。「香港の夜」というロマンチックな言葉がありますが、海上から船に乗って見る夜景はまさしく百万ドルの趣があります。函館の夜景や熱海の夜は演歌にも歌われますが、高層ビルからの灯りが、あたかも宝石をちりばめた感があって、そのスケールメリットは格別の感があります。

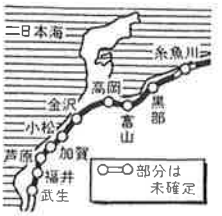
マカオは唯一の無税企国家と言われ、重税に悩まされている我々にとっては羨ましい限りでした。日本を離れて日本を見るとき、日本の良さも分かります。（ダイヤ農材㈱）

クラウンエース株式会社
朝岡香辛料株式会社
代表取締役社長　朝岡　勇
〒174　東京都板橋区東坂下２—13—16
電話　03（969）２０６６

佐々木内外国特許商標事務所
弁理士　佐々木　功
〒105　東京都港区虎の門１—11—７㈱第２文成ビル
電話　03（591）０２７１（代）

東京勝山会会長
小松川工業株式会社
代表取締役　近藤　勝
〒105　東京都港区浜松町１—22—１
電話　03（432）４３２５（代）

北陸新幹線着工へ 運動本格化



北陸新幹線は、県内の嶺北と嶺南地域を三十分程度で直結するほか、東京―福井間は三時間程度、大阪までが一時間程度と首都圏や近畿圏からの時間距離を大幅に短縮。これにより〝一日行動圏、日帰り行動圏〟を拡大するとともに、企業進出や地域開発、観光客の誘致など本県の産業、経済の発展に寄与するものと期待されている。

現在群馬県の高崎から小松間については六十年工事実施許可の認可申請が行われ、認可がおりれば工事に着手できる段階にある。整備新幹線五線のうち、北陸と東北（盛岡以北）の優先着工が既に決定している。高崎南越間、約四百四十キロに及ぶ各ルートの概要は公表すみである。

南越以西については、敦賀、三方五湖、若狭の三駅の設置を含めて、整備計画のとおり小浜市を経由して大阪と直結させる駅、ルートの早期公表が課題となっている。

奥越前大野の近況と将来

大野青年会議所
理事長　北山修三

今、世界の中にあって日本は有数の豊かで戦争の無い国家である。その平和で安定した我が国であるが、現実には、経済の不振で雇用不安また米価引下げと減反政策による一次産業の不振加えて過疎化、高令化そして最も将来において大事な嫁さん不足等難問山積している中で市民は経済的にも精神的にも苦しい今、じいっと我慢しているのが近況である。

私見ではありますが、これからは経済的価値の重視する時代から我々の生活や人生を見直す時代に移りつつある現在、大野人の特徴である純朴さと雪国特有の粘り強さ、信仰心のあつさ、さらにかつての大野丸にみられる進取の気性を今こそ発揮しこの苦しさを打破し乗り越えるべきである。将来的には

一、自然を生かした青少年育成の場―春夏秋冬のカントリースクール

二、観光と文化ゾーンの形成―自然と信仰を結びつけた複合的リゾートの造成

三、パイオ分野への進出―水と米と野菜、山菜等商品開発研究と生産、販売

以上の施策等を考えながら、全市民が手を携えての運動の展開を考え行動をするならば、市外、県外へ出られた方々が大きく胸を張って誇れるような大野になるであろうし、することがこの地に住みまた住み続ける我々の与えられた使命だと思います。

水の湧くまち、鐘のなるまち、朝市のたつまち大野より。

越前焼のこと

陶芸家　西浦　武（織田町）

越前焼は俗に六古窯の一つと称されるように、歴史的には古く且つ大窯業地であった時期もあるのですが、明治以降衰退したため現今あまり有名ではありません。しかし戦後、行政の力添えもあって徐々に復興発展してきました。現在窯元の数は五十以上ありますが、親代々の窯元は少く、多くは自分の意志で陶芸の道を選びとった人々です。このため他産地に見られるような堂々たる窯場を構えるということが適わず、年々に設備の追加増設に悪戦苦闘しています。反面、仕事の内容は現代越前焼として一括定義しかねるほど多彩です。一方で古越前の伝統を脈々と伝えつつも、県内外、海外から集った人々が自分の個性を生かした多種多様な仕事をしています。ここ越前には、上からの重圧が無く自由な創作活動を促す雰囲気があります。

越前という風土が作家たちに有形無形の影響を与え続けているその中から、越前焼という焼物の独特の香りがいつか醸し出されてくるのではないかと思います。個人的なことを言えば、私はこの道に入って日が浅く、自分の陶芸は何かを模索するのに忙しい段階です。〝越前〟は何を与えんとしているのか、〝越前〟を生かす道は何なのかに思いをひそめる境地にまで、いつか達したいものです。

（六十三年秋、日本橋高島屋にて、第二回一ノ日会展（主宰木村盛和師）を開催予定。）

情報

越前陶芸村

宮崎村長　岩原　昇

越前陶芸村のある福井県丹生郡宮崎村は、面積、三十三・八平方キロメートル、人口四千三十人と小さな村であります。

福井市の西南約三十五キロメートル、武生市内から約十二キロメートルに位置し、越前海岸とは約十三キロメートルの距離にあります。

越前焼は、瀬戸、常滑、信楽、備前、丹波とともに日本六古窯の一つであります。

安土、桃山時代、他の産地では高級品の生産活動が始められたが、越前では依然として日用生活の生産が中心だった為、次第に衰退していったのであります。再び越前焼の伝統をよみがえらせるため、昭和四十五年から県の協力で陶芸村づくりの事業が進められたのであります。

越前陶芸村は、十・二ヘクタールの越前陶芸公園と陶房、農村広場、テニスコートなどが一緒になった多目的公園であります。

三万一千平方メートルと最も大きな面積を占める芝生広場、

中部縦貫道建設 早期着工を決議

中部縦貫道路は、福井―岐阜―長野を経て東京を最短距離で結ぶ道路。岐阜―富山をつなぐ東海北陸自動車道とも直結し、中部の山岳地帯をくり抜く大きな事業。中部内陸部の開発の目玉となっている。

中部縦貫道路建設促進期成同盟会の総会がこのほど開かれ、早期着工を図るなど決議した。

総会には、福井、石川、富山、長野、岐阜の関係五県の知事、国会議員、県会議員が出席した。会長の栗田知事は「福井から岐阜に抜ける油坂第一トンネルは今秋に完成する。岐阜から長野に通じる安房トンネルの地質調査が行われ、中部縦貫道は着実な歩みを見せている。四全総の中でさらに促進させていこうと」あいさつ。各県選出の国会議員が推進を強調した。

福井パレスホテル

専務　土田光子

和服のご婦人はすそを映したい。で大きな鏡を備え、和室も設けました。けがをされては大変だと思います。浴室には、ガラス器具を一切使わず、インテリヤのすべてからとんがりをなくし丸くしました。ちょっとした気配りで、使いやすさが光ってくれれば、との願いからなんです。

「福井にも、こんなおしゃれなセンスのホテルがあるんですよ」と主張したいと思います。

越前古窯が生んだ江戸、室町時代の陶芸類も「民芸の里」に陳列します。

全国の地方都市のホテルを巡って得た〝いい感じ〟を積極的にブレンドしたのが、福井パレスホテル（10階建、94室）です。お気軽においで下さい。

福井市の空洞化

大手土地建物代表取締役
吉田俊夫（福井市）

福井市のスプロール現象（空洞化）が進んでいます。郊外化は最近の時代の鼓動を伝える進化現象の響きを持つのですが、むなしさを感じます。

人口の増加率を大きく上回って施設づくりが急増しているため、需要と供給のバランスをすっかり崩してしまいました。賃貸物件の空洞化が過激に進行し「貸してあげます」は、今「借りて下さい」の時代に大逆転です。

このスプロール化は、福井市の中心部の空洞化を招いているだけに怖いです。

県内の基幹産業の衰弱が目立つ折でもあり、人口増を仕掛けるような大活性化策が政治レベルで検討されるべきだと思います。

雨田光平記念館がこのほど完成

京極流箏曲の二代目宗家・ハープ奏者、彫刻家、画家など多彩な顔を持つ芸術家として知られ、一昨年十一月亡くなった故雨田光平氏の記念館が、福井市足羽一丁目の自宅敷地内に子息らの手で完成した。

福井県芸術界の最長老として残した足跡は非常に大きく、長男の光示さんは「芸術一筋の父の生きざまがどのような価値を持っていたのか、多くの方々に見てもらいたい」と話している。

アトリエ一階は、彫刻を主体に陳列「バッカス」「断」「セロを弾く男」など代表作を含め七十数品を展示されており、また二階はハープ、箏曲演奏者のためのレッスン場、宿泊施設も設けてある。

私の会社紹介

橋浦　年照（福井市）

私は宮城県出身、妻は、池田町の出身です。住友生命を退社後六十二年四月、㈱セブンシーズの会社を設立しました。福井に土着し、福井の人間として福井から中央に通用する何かを作りあげることにより、福井を高め福井の人間として自分自身も高めることができると思ったからです。

具体的には、個人輸入代行業務（小売店の輸入代行を含む）を主とし、福井県下で取次店を設置し、提携店をネットワーク化し、お客様にサービスの提供をはかり、小売店に対しては、開発輸入の代行業務を主に行なっております。

個人の方には、各種のサービスと、海外からのギフトにメッセージを添えた贈り物、更に、年に数回の買付旅行（今秋西独、仏の別荘見学予定）も企画しています。

将来は、全国ネットワークを作り、日本と世界の間で、物から人と心の交流へと広げ、新しい業態へと進化してゆきたいと考えています。

東京県人会の皆さんの今後の御理解、御支援を心から期待しています。

（㈱セブンシーズ　社長）

株式会社　つきぢ・田村
社長　田村平治
〒104　東京都中央区築地2―12―11
電話　03（541）2591

スエヒロ食品株式会社
代表取締役　石原雅晴
〒104　東京都中央区銀座6―11―2
電話　03（571）8346

株式会社　みくに
代表取締役社長　中村秀子
〒162　東京都新宿区市ケ谷八幡町8
シャーブ東京ビルB1
電話　03（268）2629・2632

ふるさと

国際的な陶芸村に

勅使河原氏代弁

緑の環境美化と多目的広場の両方の機能を兼ねており、更に陶芸公園の特徴ともいえる陶彫品の野外展示が行われる陶彫広場もあります。

日本で最初のクラフトパークとして位置付けられたこの公園を中心に太陽の光のように地場産業の未来が開けることを願っています。

映画「砂の女」などを制作、監督した勅使河原宏氏の草月陶房はすでに開いて十四年。陶芸村の住人仲間と越前焼に新しい息吹を吹きこんでいる。

父蒼風氏が奈良の大仏を背景に花を生ける五メートルの超大型花器を制作することになり、陶芸村に何度も足を運んでいるうちに越前焼に魅せられていったという。

陶芸家たちの作品は、古越前の伝統を生かしたものから、新しい感覚のものまでさまざまだが、「世界の陶芸家を集めて国際的な陶芸村にしたい」という〝住人〟の夢を勅使河原氏は代弁している。

いとしきわが故郷

林　哲夫（敦賀市）

銀行を退職し、三十五年ぶりに帰郷して既に八カ月、様変りした故郷の風景は、隔世の感慨ひとしおのものがあり、あらためて三十五年間の時間の空白が深くしのばれる日常生活でもある。

空澄み、水清く、緑豊かな故郷の自然は魅力的で、誇り高き故郷再発見への探訪が今、私の胸を大きくはずませている。

菅笠の生産量がトップの丹生郡清水町、日本最古の縄文遺跡（三万郡鳥浜貝塚）、加えて北陸道総鎮守の気比神宮（敦賀市）の鳥居の高さなどが、いづれも日本で一位にランクされている。

かかる知られざる故郷への旅が私をして香る歴史への熱いロマンと夢をかきたててくれる。産業面でも話題の繊維、眼鏡枠、原子力事業はじめ、伝統工芸では、竹細工、越前和紙、陶器、漆器が有名。打刃物に若狭塗など、文化的技術立県として、豊かな独創性と技能的信頼性をあらゆる分野で高めており、探究心旺盛にして勤勉な県民性が、時代の鼓動となって胸深く伝わる。

以後はこの福井の知恵、発想、活力を東京圏との情報交流でより磨き、官・産・学の一体化を軸に〝フレッシュ福井〟の創造でイメージアップを達成することが課題。福井県としても参加、挑戦、創造の機会と輪が故郷と東京圏をリンクして拡大してゆくことを期待している。

（敦賀原子力サービス㈱）

全国初　昆布PR館が完成

敦賀市相生町の昆布加工、卸業、ヤマトタカハシKK（北村柳之助社長）が同市坂ノ下に建設していた全国初の昆布PR館「ヤマトタカハシ昆布館」が完成した。

全国シェア八五％を占める敦賀の手加工昆布普及と消費拡大につながるものと関係者らの期待を集めている。同社では「昆布を前面に打ち出し、日本伝統の味をPRしたい。健康食品として昆布の良さを知ってもらい、需要拡大と地元昆布業界の発展につなげていきたい」と話している。

◆御土産紹介

春季総会参加者全員の御土産となった〝米五のみそ〟は、創業天保二年より造りつづけられたおいしい味噌である。

米五の本家「大米屋」は慶長・元和のころ武士を捨てた多田善右衛門景連が福井城下で米屋と札差を営んだのが最初。現在の「米五」は元禄文化はなやかしき時代、寛文年間に多田彦四郎が分家し谷町で米屋を始め、五代目五右衛門のときから、みそ・しょうゆの醸造を手がけ、以来十代にわたり吟味された商品を扱い、長い年月ののれんの中で培われてきたものである。

米五では、寒仕込天然みそ〝蔵〟（二年もの）、みそづけ、はまなみそ（古くから越前地方にあるおかず味噌）、なんば味噌（まちかねみそ）、あまざけ、みそせんべいなどを製造している。東京都内でも一部は東京駅地下の物産販売店で購入が可能である。

㈱米五（電）〇七七六―二四―〇〇八一代表／福井市春山二の十五の二六

小浜市のこと

小浜商工会議所　事務局長　山口　隆也

〝海のある奈良〟といわれる小浜市も、官民が力を併せてこの課題に取り組んでおり、市民の夢をふくらませています。事例を二～三ご紹介しましょう。

その一つは、水産関連団地の建設です。昭和四十八年から十三年の歳月をかけ小浜港を埋立て、昨年十月に二十万平方メートルの団地が完成し、皇太子殿下を迎え全国豊かな海づくり大会も開かれました。

二つには、大学の誘致です。三年前に誕生した吹田市政のもと、羽賀地区に土地を造成して嶺南大学（仮称）を設置しようというわけです。このほか、今春発表された第四次全国総合開発計画で示された、敦賀―舞鶴間高規格幹線道路の建設にも大きな期待が寄せられています。いづれも大型プロジェクトであります。

年月が必要ですが、地元では希望の火を消さないように頑張ろうと、決意を新たにしております。

東京在住の皆様にはとくにご理解をいただき、ご支援をお願いしたいと存じます。

最後に、楽しい話を一つ。小浜市の空印寺（青井地区）に八百比丘尼入定の洞窟がありますが、八百比丘尼の伝説は、全国五十二カ所の地にありますが、いづれもその尼僧が小浜で亡くなったと言われておりますので、一つこのことを世間に広める工夫をしてみようという動きがありますのでお伝えしておきます。

朝倉資料館と保存協会
日本建築学会賞を受賞

今年で満二十年を迎える朝倉氏遺跡環境整備事業が、六十一年度の日本建築学会賞を受賞した。住民と行政が一体となって高い水準の調査と町並みや遺構の整備保存を行ってきたことが評価された。

朝倉氏遺跡で受賞の対象となったのは、県立朝倉氏遺跡資料館と朝倉氏遺跡保存協会の二団体。同賞は建築に関する学術・技術・芸術の進歩を図り建築文化を高めるため二十四年に設けられた。受賞の理由は、「土地国有の文化的価値を具体的にわかりやすく、学術的にも正確にあるおかず味噌、なんば味噌（まちかねみそ）、あまざけ、史跡公園として整備することに成功している。その社会的先駆性と豊かな独創性は高く評価できる」としている。

朝倉氏遺跡の発掘は四十二年から始まり、四十六年に国の特別史跡に指定された。発掘が進んで巨大な城下町が地下に残っていることがわかった。

朝倉氏遺跡保存協会が、周辺の整備管理と環境づくりに取り組む一方、遺跡資料館が町並み、遺構を可能な限り現場で露出させて整備展示を行い、一部武家屋敷の復元も行った。二百七十八ヘクタールの広大な遺跡は日本の建築史を研究するのに欠かせないものとなっている。

日本海時代到来を強調
太田清蔵東邦生命社長

東邦生命保険相互会社の太田清蔵社長は福井新聞社を訪れ、吉田耿介社長と懇談し、これからは日本海側が見直される時代で、日本の中心部に位置する福井県は、大いに飛躍の可能性を秘めているなどと持論を展開した。

太田家は代々、永平寺の門徒で、昭和五年の本山改修には太田社長の祖父が資金面でバックアップ、信徒総代を努めたこともあるなど、本県とのゆかりも深く毎年来福している。太田社長自身も参禅の経験がある。

太田社長は、経団連理事や、日経連常任理事などの要職にあり、ユニークな発想で知られる。太田社長は「日本海側は、ソ連、朝鮮半島、中国、日本と将来とも世界を担う諸国が集まっている。国内でも大都市中心の弊害が出ており、日本海時代は必ずくる」と強調。それを実現する決め手の一つは、整備新幹線の代わりにリニア・モーターカーを走らせよと提言した。

地酒紹介

酔蝶花（すいちょうか）

田島　清博（朝日町）

全国で初めて桜と梅の花を清酒に封じ込んだ新しい日本酒が朝日町西田中朝日酒造㈱（田島清左衛門社長）から発売されます。銘柄は酔蝶花というこの酒は薄いブルーの酒瓶（七二〇ミリリットル）に桜と梅の花を特殊加工した花と金箔が封入してある秀明な酒瓶の上半分はフロスト処理がしてあり、酒瓶を静かに揺すると、カスミたなびく野に金箔が舞い桜の花、梅の花に降りかかるという春の野の風情が演出できる酒です。

酒は福井県で生んだコシヒカリをつかった本醸造酒で、目で味わい、口で楽しめる酒に仕立ててあります。昨今はもっぱら花ならぬギャルを愛で、詩歌を吟ずるなどダサイ、何たってカラオケに限るはという、無風流、無作法な人々が目立ってしかたが無いと憮然たる表情のあなたに、花を愛で、詩歌を吟じ、花鳥風月に季節の移ろいをたくし、この酔蝶花で盃を傾けていただければ幸いであります。

ふるさとの本（2）

●越前大仏
（福井新聞社発行　定価千二百円）

昨年十一月から今年五月まで七十三回掲載した記事を一部加筆したもの。五部編成で、第一部は、市の変りゆく様子を描いた「変ぼう」第二部は仏像のルーツを探り越前大仏の宗教的な意味を捕えた「こころ」第三部が、「現場からの報告」また、第四部では、大仏によって活性化を歩み出した「地域波及」を取り上げ、第五部では、現場の工事に携わった人たちを描いた「夢を支えた人々」となっている。最後には、勝山市の観光ガイドのほか、奥越全体も紹介、年表も載っている。

●聞き書・福井の食事
（社団法人農山漁村文化協会発行　定価二千八百円）

この本は北海道から始まる日本の食活全集シリーズの十八巻目にあたる。

県内の源内園子（大野市）田中美子（坂井町）阿久いえ（越前町）さんら九人が語り部となり、県文化財保護審議委員の小林一男さんら四人が執筆した。

大まかには▽福井平野の食▽若狭中山間の食▽越前海岸の食▽奥越山間の食▽越山間の食一の四編で構成されている。加えて、永平寺の精進料理や浄土真宗の食事も詳しく記載されており、〝仏教王国〟福井をしのぶうえでも興味深い。

今までに忘れられようとしている春夏秋冬の古き良き味と暮らしぶりが鮮やかによみがえる。

株式会社　福井新聞社
本　社　〒910　福井市春山1―1―14
電話　0776（23）5111（代）
東京支社　〒104　東京都中央区銀座5―10―9（戸塚ビル）
電話　03（571）2918（代）

福井テレビ
本　社　〒910　福井市問屋町3―410
電話　0776（21）2233
東京支社　〒104　東京都中央区銀座3―14―13（第一厚生館別館）
電話　03（543）7563（代）

株式会社　日刊福井
本　社　〒910　福井市問屋町1―251
電話　0776（27）2111
東京支社　〒104　東京都中央区銀座3―14―9（第2厚生館別館）
電話　03（543）4399（代）

各会紹介（2）

東京・勝高会近況報告

東京勝高会が五月三十一日千代田区の日生会館で開かれ、勝山高出身者で東京や関東地方に在住している二百四十人が出席親ぼくを深めた。

東京勝高会は、一昨年設立、今回で二回目の総会を迎えた。会員は熱心な活動をしており、名簿づくりや会員間の情報交換に取り組み、この日も若い人から年配者まで大勢出席した。奥村正光会長（第一回卒、二十四年）が「母校創立四十週年を祝いたい。これからも母校と郷土勝山のため力になろう」と挨拶、今井正典、勝山高校長に五十万円を贈った。

堤山西賞、元勝山高校長、近藤勝、東京勝山会会長らを来賓に迎えて、和やかなひと時を過ごした。

役員改選もあり新会長に、藤野真二氏（第一回卒、二十四年）を選んだ。

通産・運輸両省にも県人会発足、初会合

このほど通産省と運輸省に福井県人会が発足、それぞれ初会合を開いた。

今年四月には、農林水産省の県人会組織「若越会」（会長鎮西迪雄―大野市出身）ができており、これで三省に県人会が結成され、県出身者が連携を取り合っていく。

両省の主な会員名と出身地は次の通り。

〔通産省〕

川崎雅弘（金津町）竹内征司（福井市）緒方謙二郎（坂井町）島弘志（敦賀市）清水一郎（敦賀市）橋本久義（越廼村）堀隆男（大飯町）

〔運輸省〕

笠川康一郎（福井市）土坂泰敏（上中町）吉田征夫（小浜市）青木義典（越前町）田島弘（福井市）

福井高専が進和会関東支部を設立する

福井高専の卒業生でつくる進和会関東支部設立総会がこのほど港区六本木で開かれた。

福井高専の第一回卒業生から今年三月の第十八回生まで関東地区には、五百人が在住している。

この日の総会には、東京はじめ神奈川、千葉、静岡など関東在住の卒業生や遠く東北、北海道に住む卒業生まで八十人が出席した。

進和会は福井にしかないが、今回初めて県外で同窓会ができたわけ。

第一回、第二回の卒業生は、すでに一流企業の課長、課長補佐級として活躍している。

支部結成を機会に、今後は年一、二回の会合を持ち会員間の連携を深めてゆくことにした。

なお初代支部長に坂下重信さん（三六）東京都新宿区西稲田＝が選ばれた。

約二百人が参加新入会員励ます

東京明新会総会

東京明新会の総会がこのほど東京・渋谷区の東郷会館で開かれ、今年三月藤島高卒業生で大学に入学した新会員を激励した。

同会は藤島高卒業生でつくられており、三百二十人の会員を抱えている。総会にはこのうち二百二十人が出席した。

鎌田英男会長（協和発酵相談役）が、新入会員に激励の言葉を贈った。

これにこたえ新入会員を代表して、松浦正治君（東大）が「明新会の名に恥じないよう頑張ります」と元気にあいさつ、会場の拍手を溶びた。

足利正臣、藤島高校長も出席し「来年学校創立百三十周年を迎えるので、いろいろな記念事業に協力して下さい」と話した。

特別講演が行われ、昭和三十年卒の石川高嶺氏（静岡県・伊豆函南病院長）が「精神科医のぼやき」というテーマで話した。

最長老の天谷次一さん（九三）＝大正二年卒＝の音頭による乾杯で懇親会に入り、足利校長らを囲んでなごやかに過ごした。

栗田会報告

栗田会代表　山根重次

東京福井県人会会員　栗田幸雄氏の福井県知事御当選を心から祝し、県政のため御活躍されますようお祈りいたします。

本年二月二十三日、千代田区平河町麹町会館において「栗田幸雄君を励ます会」が盛大に催され、われわれ在京の福井県人も多数参加した。実は前々から勝山会会長の近藤勝氏の御提唱で「栗田幸雄氏を励ます会」の発足を計画中であったので、この日の励ます会の翌日同志が集まって試案を作成し、直ちに県事務所に栗田幸雄氏を訪ね、在京福井県人の励ましのことばをお伝えした。続いて三月十七日に催された東京福井県人会役員会において、この「励ます会」の趣旨を説明し、県人会に、政治を持ち込まないように配慮したことを報告して、この際、実際の活動は、福井で結成されている「栗田幸雄を育てる会」に協力するのが実効が挙がるとの結論を得たので、在京県人は、直ちにこの会に協力することになった。

四月十三日、栗田幸雄氏は、見事に福井県知事に御当選されたので、在京励ます会からもお祝詞を申し上げた。「栗田幸雄氏を励ます会」を「東京栗田会」に切り換え、会の事務局は、佐々木功内外国特許商標事務所（電話五九一―〇二七一）内を予定しています。

県人会会員の多数の御参加を心からお願いいたします。

（東京南条郷友会会長）

福井県東京宿泊所「ふくい青山荘」

ふくい青山荘は、青山の緑青い閑静なところにあり、都心にいるとは思えないほど落着いた各部屋をはじめ、防災設備、冷暖房、駐車場も完備した福井県民の宿舎である。

近くには、明治神宮や若者の街原宿・六本木があり、中央官庁、国会、ショッピング、歓楽街等への交通も至って便利である。

朝食、夕食（予約制）等の利用も可能である。

本青山荘の利用は、福井県民であれば誰でも利用できる。申し込みは直接青山荘（港区南青山五の四の四一＝電話〇六―六八四一）又は福井県庁人事課（電話〇七七六―二―一一―一一一）へ申し込むとよい。

福井ビジネスセンター御案内

東京駅八重洲口にある国際観光会館四階の県事務所（物産観光）に、このほど福井県ビジネスセンターがオープンした。

県内に本社、本店を持つ企業が、都内で情報収集、販路拡張する際の拠点にと県が設けたもので事務机と電話＝03（213）2970＝を置いている。

販売拡張に意欲的な県内の中小企業者が早くも訪れて利用を始めているが、県では「物産の販売や観光宣伝、企業誘致などに大いに活用して欲しい」といっている。

会報　配布先一覧

県人会会員	一〇〇〇部
福井県庁	一〇〇部
県内各市町村	七八〇部
〃七市	二八〇部
〃二二町	四四〇部
〃六村	六〇部
関係郷土の会	三〇〇部
大野会、勝山会、三国会、鯖江会、武生郷友会、南条会、池田会、敦賀会、若狭雲城会等各会	八〇部
札幌、名古屋、京都	八〇部
大阪各県人会の各会	六〇部
衆、参各国会議員	一〇〇部
鎌倉理事長	三〇〇部
青年部	二八〇部
県人会事務局	三〇〇〇部
（合計	三〇〇〇部）

編集後記

▽水不足、突然の停電、雷雨、猛暑等々、自然界の現象には驚く他ない。都市に住むすべての人に警告を発していると考えたい……。猛暑、御多忙の折柄、貴重な玉稿を御執筆。併せて広告掲載の御協力を頂いた関係者の皆さんに心から御礼を申し上げます。

▽歴史的な創刊号と異なり、本号は少し柔らかい会報にしたいと思っていたが成果は如何だろうか？今回も不足の原稿を福井新聞社から提供して頂き、更に紙面の編集等に、菊池智取締役東京支社長に全面的にアドバイス頂きました。

▽新知事栗田幸雄氏が誕生し、ふるさと福井も着々と発展していることはことさら、嬉しい。新しい産業も又、創業しつつあるし、陶芸家、彫刻家等々〝芸術家〟の活躍に注目したい。

▽松平会長に〝県人会の未来像〟を御執筆頂いた。会員一人一人が御趣旨を理解し、次代に誇れる〝県人会〟にしてゆきたいものである。

▽微力ながら、何とか第2号の編集を終えた。何とか常に新鮮で読みごたえのある会報にし続け、更に会報が、ふるさと福井と東京の交流の促進に役立つことを切望したい。

新会員　紹介

（春季総会席上で，紹介された皆さんの御名前）

山川美枝子（旧姓吉田）	主婦	丸岡町出身
大崎　紀枝	〃	〃
橋本　輝男　日本勧業角丸証券		和泉村出身
菊川　修　椿本興業㈱		大野市出身
大野喜代子（旧姓清水）	主婦	美山町出身
鎌倉　精一　㈱マッキャンエリクソン博報堂		和泉村出身

株式会社　テラキ
代表取締役　寺木　伝
東京都台東区浅草橋三丁目六番三号
電話　〇三（八六一）五五二六（代表）

企画・編集から印刷一般まで
河和田屋印刷株式会社
東京本社
東京都新宿区高田馬場二―六―五
電話　（二〇〇）七七七七番
福井本社　福井市春日三丁目六二〇番地
電話　〇七七六（三五）三三三三番
神明支店　鯖江市神明町一丁目五番一三番
電話　〇七七八（五一）一〇二九番

ビルヂング貸室業
山口産業株式会社
取締役社長　山口信吾（大飯町出身）
〒105　東京都港区新橋二丁目一番一号　山口ビルヂング
電話　〇三（五九一）七二二一（大代表）

新規墓所申込受付中
見学自由
築地本願寺西多摩霊園
〒104　東京都中央区築地三―一五―一
電話　〇三（五四二）三五〇一
（霊園所在地）〒197　東京都秋川市菅生七一六
電話　〇四二五（五八）七七三一

福井銀行東京事務所
〒104　東京都中央区京橋二―一―一六
電話　〇三（二七一）〇五〇一
福井銀行東京支店
〒104　東京都中央区京橋二―一―二
電話　〇三（二七一）一一九一
福井銀行新宿支店
〒160　東京都新宿区西新宿二―六―一（新宿住友ビル）
電話　〇三（三四六）〇二九一